

地方創生推進交付金事業について

資料2

1. 美食の街いすみ～サンセバスチャン化計画～(事業計画額: 50,000千円)

事業計画

○ミシュランの星付オーナーシェフをはじめ、多くの著名な料理人がいすみ市にレストランやオーベルジュを開設し、一流の食材と技術を求めて、東京だけでなく、世界から食を求めて人が集まる街を出現させるため、以下の事業を行う。

- ・出張港の朝市事業
- ・レストラン(オーベルジュ)誘致実証事業
- ・一流料理人と農家・漁師との交流会、いすみ食材フェア等の開催
- ・いすみ食材・料理研究

取組状況

○いすみ製品の認知度向上や販路拡大の一環で行った大山商店街(東京都板橋区)や川崎市等4か所で行った「いすみ産品PRイベント」やいすみ市料理人やいすみ市の食材を取り扱う料理人によって行った「料理イベント」。20件を超える新聞や雑誌等メディアに取り上げられることで、認知度も向上した。その結果、市内業者の新規取引は30件となった。

○市内において3回開催したCLUB RED RESTAURANTにより、魅力ある食材を活用した料理を市内外の合計92名の来場者がいすみ市の料理店に足を運びランチ7,000円以上の価格にも認められる可能性を生み出した。

○「いすみの食の魅力体験セミナー」を開催し、食材の価値や食材の加工法、扱い方等を料理人と生産者が実演を交えて約100名を超える受講者に伝え、住民の知識レベルの向上に繋がった。

重要業績評価指標(KPI)

- (1)いすみ市産品の新規取引店舗数 目標:10店舗 実績:30店舗
- (2)いすみ市内でのレストラン、オーベルジュ等の新規開業数 目標:1件(平成30年度) 実績:1件
- (3)いすみ市へ観光入込客数 目標:7万人増 実績:9.7万人増

2.新しい「人の流れ」から「しごとの場」まで地域一体で創造する千葉創生事業 (事業計画額:10,000千円)

事業計画

- 県と6市町により、「移住・定住」から「就農」「就職」「企業・創業」まで一体的に取り組む「千葉モデル」方式の確立及び横展開を図り、千葉県への「新しい人の流れ」と「質の高い働く場」の創出、さらに地域における「ひと」と「しごと」の好循環を実現させるため以下の事業を行う。
 - ・地域課題を解決するための企業と協働した誘致活動の展開
 - ・空き公共施設等のリノベーション検討及び補助金制度の構築、お試し居住及びお試しオフィス等の情報発信
 - ・企業・起業家誘致に係るパンフ及びサイト作成、PR事業、合宿、 ツアー、フィールドワーク等の検討・実施

重要業績評価指標(KPI)

(1)地域しごと支援事業の利用者数	目標:200人／年	実績:0人(起業相談数35人)
(2)空き公共施設等への進出企業数	目標:16社(H29→31年度)	実績:2社
(3)起業家応援イベントの参加者数	目標:2,000人／年	実績:273人
(4)企業と市町村とのマッチング件数	目標:100件／年	実績:11件

取組状況

- 企業・起業家誘致活動業務委託、企業と協働し活動を行った。PR交流イベント3回、1泊2日の合宿を通して、地域資源、地域のひとのつながり、起業準備の仕方、事業計画作り等を学ぶ場や、参加者全員で支え合うメンタリングプログラムを全6回実施し、平成29年度集大成とし地域住民で起業家を応援するための起業家フォーラムを実施。事業の交流人口168名
- 地域資源調査業務委託、市内の地域資源等の調査、検討、資源を再発掘し企業や起業家等が地域の情報を知るきっかけづくりを構築した。取材先10名、専門家3名、企業視察2社
- 起業家発掘及び情報発信業務委託、起業家等がチャレンジしやすいまちとして、地域で様々なスキル、経験、アイデアを持った実践者(地域の人)の活動を学生がフィールドワークし、取材を行い、起業しやすいまちであることをwebやパンフレット制作などによる情報発信を行った。学生8名 取材先10名

地方創生拠点整備交付金事業について

いすみ市土着菌完熟堆肥センター（事業計画額：21,859千円）

事業計画

○土着菌堆肥センターを建設し、土着菌農法を市内に普及させることで、農作物の生産性の向上やブランド化を図り、生産者の所得向上を通じて、担い手不足の解消に繋げることを目指す。また、地域再生計画に認定されている「美食の街いすみ～サンセバスチャン化計画～」においても、土着菌で生産した農作物をシェフに供給可能となるなど、地域再生計画の進捗にも大きく寄与するものと考え、事業を行う。

取組状況

- 平成32年3月まで、いすみ市内の農家に生産した土着菌完熟堆肥を無償で配布し、作付品目、面積、効果について報告をいただき、市内全域での実証を行っている。
- 地元の有機農業を行っている農業生産法人に、土着菌完熟堆肥を使用した千葉県的好適酒米「総の舞」の栽培を依頼し、市内の酒造会社が日本酒（純米酒）の製造を行っている。
- 地元の養豚業者に土着菌完熟堆肥を餌として使用し、糞尿の臭いがどうなるか検証を行っている。

重要業績評価指標(KPI)

- (1) 土着菌堆肥を使用した有機農業取組農家数の増加 目標:25件(平成32年度末) 実績:30件
- (2) 土着菌堆肥を使用した有機農業取組ほ場面積の拡大 目標:25ha(平成32年度末) 実績:2ha
- (3) 土着菌堆肥を使用した有機農産物生産販売に伴う農業所得の増加
目標:50万円増(平成32年度末) 実績:作付中